

日本学術会議シンポジウム「サハラソーラーブリーダー計画」の開催について

URL: <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/~hfujioka/ssb/>

1. 主 催 日本学術会議 総合工学委員会

2 後 援 (依頼中を含む)

(独)科学技術振興機構、(独)物質・材料研究機構、(財)旭硝子財団、(財)総合工学振興会、
東京大学生産技術研究所

[協賛] (独)日本学術振興会 175、145、146、151、153、161、162 委員会； 新エネルギー・産業技術総合開
発機構； 産業技術総合研究所、(財)太陽光発電研究組合 (PVTEC)； 神奈川科学技術アカデミー
(KAST) (社)日本工学アカデミー(EAJ)； 日本化学会関東支部； 未踏科学協会、(株)三菱総研、； 大
学: 東京大学・新領域研究科、東京工業大学・統合研究院、東北大学・WPI、中部大学、弘前大学・北日
本新エネルギー研究センター、京都大学・エネルギー理工学研究所

3. 日 時 平成 21 年 6 月 30 日 (火) 13:10 ~ 17:40 (+懇親会 18:00-19:30)

4. 場 所 日本学術会議 講堂(港区六本木 7-22-34)

5. 参加費 無料

6. 次 第

開催趣旨: 2005 年7月の英国グレンイーグルスでのG8サミット以来、G8(日、米、英、仏、独、カ
ナダ、イタリア、ロシア)+ 5(インド、中国、ブラジル、南アフリカ、メキシコ)諸国の学術会議はサミッ
トの1~数ヶ月前に集まり、1~2の主要議題を取り上げて協議し、サミットに向けた声明を採択し
勧告してきた。昨年7月の洞爺湖サミットにむけた G8+5 学術会議は3月に東京で開かれ、6月に
声明: 1) 気候変化: 適応策と低炭素社会への転換、2) Global Health を発した。本年(2009)は、3
月末にローマで学術会議 G8+5 に加えてエジプトがオブザーバー参加して開かれ、当初の主要
議題として、1) New technologies for energy および 2) International migration が設定された。日
本学術会議(SCJ)は、テーマ1)のエネルギー問題について、” Sahara solar breeder plan directed
towards global clean energy superhighway” と題した提案を発表した。この計画は、太陽光発電と
材料工学、超伝導と線材技術、電力工学など、各種材料と産業技術の組み合わせを必要とする
総合工学領域のイノベーション課題と言えます。

本シンポジウムでは、サミットで一貫して取り上げられてきた地球環境・エネルギー問題への
学術会議の取り組みを中心に、地球規模課題への日本の技術と教育貢献、外交戦略の現状を
紹介し、未来について議論する。一例として SSB 計画の地球規模超伝導送電ネットワーク展開
を取り上げ、夢のエネルギーシステム実現に向けた技術的、政治経済的課題、国際協力、現地
人材の育成シナリオを総合的に討議する。

開会あいさつ: 13:10-13:25

矢川元基 (東京大学名誉教授、学術会議会員、総合工学委員会委員長)

金沢一郎 (東京大学名誉教授、日本学術会議会長)

中原恒雄 (日本工学アカデミー会長)

I. 講 演 (13:25 ~ 15:45)

司会:川合真紀(東京大学教授/理化学研究所主任研究員, 学術会議連携会員)

1) 13:25-13:40 唐木英明(学術会議会員、副会長)::サミットと学術会議 G8+5 声明

2) 13:40-14:05 中田真佐美(UNESCO-Asia 科学技術プログラム専門官):

ユネスコの環境・エネルギー教育活動

3) 14:05-14:30 黒川浩助(東京工業大学特任教授):

IEA-PVPS プログラム-“Energy from the desert”

4) 14:30-14:55 吉川暹(京都大学特任教授):

京大の太陽光発電研究とアフリカ学術協力(EJUST)

5) 14:55-15:20 佐藤謙一(住友電工・フェロー):

超伝導線材と直流送電技術の現状と未来

5) 15:20-15:45 鯉沼秀臣(NIMS 特別顧問、学術会議連携会員):

サハラソーラーブリーダー計画-学術会議 G8+5 ローマ会議提案-

II パネル討論—課題先進国の新たな挑戦 16:00~17:30

司会:下山淳一(東京大学准教授)

パネリスト(話題提供:各 10 分):

小宮山宏(三菱総研理事長)、善里順信(PVTEC 事務局長)、吉井譲(東京大学教授)、

山口作太郎(中部大学教授)、藤原洋(インターネット総合研究所/ナノオプトニクス・エナジ

ー代表取締役)、

会場との質疑応答 (40 分):講演者およびパネリストと聴衆の質疑応答

閉会あいさつ:北沢宏一(JST 理事長、日本学術会議会員)

III 懇親会 18:00-19:30 はあといん乃木坂 (会費 2,000円)

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて以下の事項ご記入の上、お申し込みください。

.....

氏名:

所属:

連絡先電話番号:

E-mailアドレス:

懇親会参加希望の有無:

.....

<連絡申込み先>

東京大学生産技術研究所 藤岡研究室、担当:高野早苗

E-mail: tabo@iis.u-tokyo.ac.jp

Fax: 03-5252-6343

*定員(200名)となり次第、締め切りとさせていただきます。